

[15]九州大学応用力学研究所技術職員技術レポート 表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1961365>

出版情報：九州大学応用力学研究所技術職員技術レポート. 15, 2014-03. Research Institute for Applied Mechanics, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

[技 術 室 参 考 資 料]

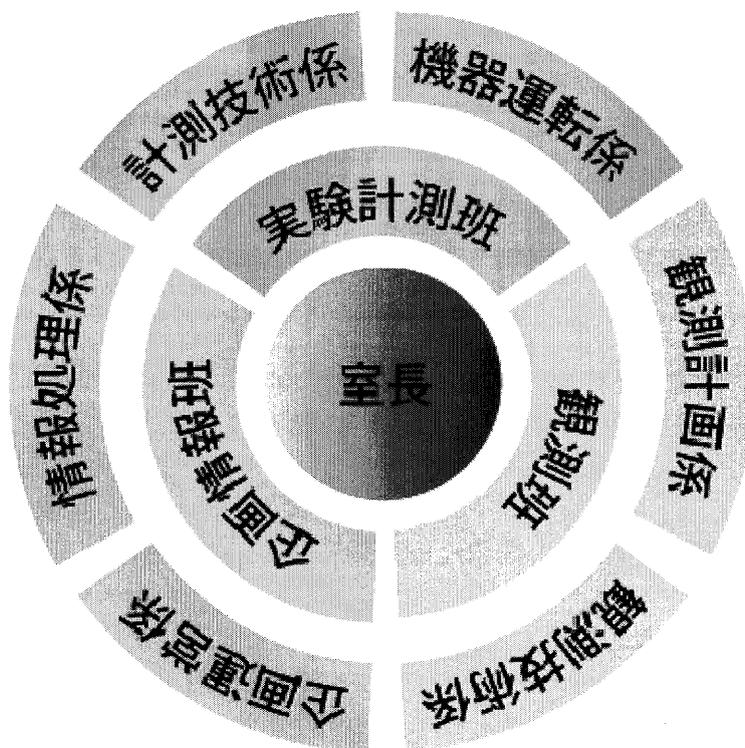
組織図

沿革

技術レポート発行一覧

現在までの奨励研究採択一覧

技術室組織



技術室長

技術室長は、技術室の業務を掌理する。

企画情報班

企画運営係

研究支援の企画調整に関する業務をつかさどる。

情報処理係

電子計算機システムの運転及び管理に関する業務をつかさどる。

実験計測班

計測技術係

実験計測技術の開発及び計測機器の管理に関する業務をつかさどる。

機器運転係

大型実験装置の運転及び維持管理に関する業務をつかさどる。

観測班

観測計画係

野外観測の計画及び調整に関する業務をつかさどる。

観測技術係

野外観測技術の開発及び計測機器の管理に関する業務をつかさどる。

技術室 沿革

九州大学応用力学研究所は「流体及び弾性体に関する学理とその応用」を設置目的として、1951年4月1日に発足しました。それから、様々な研究部門および付属研究施設の設立などを行い、1987年には研究所は15部門・2研究施設をもつ日本でも有数の大学附置研究所の一つとなります。当時の研究所は、大エネルギー力学過程（海洋関連）と高エネルギー力学過程（核融合関連）、それらを結ぶ基礎力学過程の三つの過程を、応用力学という一本の横糸でつなぐことにより一体感のある研究基盤を持つことを目指し、技術職員は各研究室や大型装置、工作場に配属され、技術支援を行ってきました。

その後、1995年度に実施した外部評価における提言も受けて、1996年度に新しい研究所組織が構想されました。この構想による改組は1997年4月に実現し、研究所は「力学に関する学理及びその応用の研究」を目的とした全国共同利用研究所となりました。この改組時に、技術職員は新設の技術室として組織化され、技術室長以下、3班・6系の体制となり、技術室から各研究室へ派遣され、先端研究や全国共同利用研究の高度な技術支援を行う体制となりました。

応用力学研究所は2009年6月には、全国共同利用・応用力学研究拠点に認定され、2010年4月に改組が行われ、新エネルギー力学、地球環境力学、核融合力学部門の新3部門と東アジア海洋大気環境研究センター、高温プラズマ力学研究センターの2センターとして、新たなスタートを切っています。

現在、技術室には17名の技術職員が配置されており、各部門・センター、研究所の共通業務への技術支援を行っています。

技術レポート一覧

	掲載レポート	ページ数	発行年月
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.1	16 編	133	2000/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.2	22 編	145	2001/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.3	19 編	148	2002/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.4	15 編	116	2003/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.5	19 編	105	2004/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.6	20 編	114	2005/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.7	17 編	140	2006/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.8	20 編	168	2007/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.9	16 編	187	2008/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.10	23 編	246	2009/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.11	20 編	153	2010/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.12	18 編	130	2011/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.13	22 編	141	2012/3
応用力学研究所 技術職員 技術レポート Vol.14	22 編	133	2013/3

現在までの奨励研究採択一覧

研究代表	研究課題名	採択年度	研究分野
	技術レポートタイトル		Vol.,Page
石井 大輔	海中での自動昇降を可能にした小型海洋観測システムの開発	2013	工学V (その他工学)
	海中での自動昇降を可能にした小型海洋観測システムの開発 - 平成 25 年度科学研究費補助金(奨励研究)研究成果報告書 -		Vol.15,53-54
松原 監壯	塩害腐食を受ける海上風力発電用軽量構造の締結ボルトの残留軸力評価システム	2012	工学 I (機械系)
	塩害腐食を受けたアルミ締結ボルトの残留軸力評価試験		Vol.15,1-6
石井 大輔	閉鎖性沿岸域の水質環境修復に向けた自動連続計測式海洋観測塔および測器係留系の開発	2010	工学V (その他工学)
	閉鎖性沿岸域の水質環境修復に向けた自動連続計測式海洋観測塔および測器係留系の開発 - 平成 22 年度科学研究費補助金(奨励研究)研究成果報告書 -		Vol.12,37-38
杉谷 賢一郎	熱上昇風を利用した煙突型集風構造体による発電システムの実験的研究	2009	工学 I (機械系)
	煙突型集風体に関する室内実験		Vol.11,55-68
	煙突型集風体に関する室内実験—第2報 上昇流の速度計測と集風性の検討—		Vol.12,15-22
丸林 賢次	絞り道具の開発と製作による「絞り(甘木)技術」の復活と保存の支援	2009	生活科学
	絞り道具の改良・製作について		Vol.11,147-153
石井 大輔	携帯端末搭載型海洋漂流ブイならびに遠隔動態管理システムの開発	2008	工学V (その他工学)
	携帯端末搭載型海洋漂流ブイならびに遠隔動態管理システムの開発 - 平成 20 年度科学研究費補助金(奨励研究)研究成果報告書 -		Vol.10,1-6
杉谷 賢一郎	風力発電適地選定のための複雑地形を対象にした高精度気流計測システムの開発	2007	工学 I (機械系)
	スプリットフィルムプローブを用いた気流計測システムの評価		Vol.9,100-108
松原 監壯	PVDを使用した Au-Sn 鉛フリーはんだ接合技術の最適化	2007	工学 II (電気・電子・情報系)
	サブミクロン組織の EPMA 分析・解析技術電子部品マイクロ接合用 PVD-Au-Sn 鉛フリーはんだ共晶組織の場合		Vol.9,53-61
石井 大輔	海洋における表層流動場の収束・発散構造解明に向けた観測環境構築	2006	農学・水産学

	漂流ブイ計測用可視化システムおよび流動場解析ツールの開発		Vol.8,7-12
渡辺 公彦	高効率ダリウス型水車による水力発電実用化のための実験的研究	2006	工学 I (機械系)
	ダリウス型水車による水力発電実用化のための実験的研究		Vol.8,127-136
小松 治男	粘弾性球体による 3 次元非線形動的接触時の負荷力計測用 2 分力ロードセルの製作	2001	工業
	-		-
深町 信尊	風レンズ効果による風力発電の研究	2000	工業
	-		-
石井 幸治	「街の中での発電」が可能な小型風力発電用風車の開発	2000	工業
	小型風力発電用風車に関する実験(1)第一報:ブレード数・形状に関する実験		Vol.2,7-14
	小型風力発電用風車に関する実験(2)第二報:風車翼の形状と効率に関する実験		Vol.2,15-24
松原 監壯	大気～真空環境で用いる接触応力可変型の摩擦力測定器の試作	1997	工業
	真空中で使用する摩擦力測定器の開発と幾つかの実験結果		Vol.2,84-87
石井 幸治	時分割加熱度切替による単一熱線風速温度計の開発	1994	工業
	-		-
深町 信尊	検定圧力発生装置の開発	1991	工学
	変動圧力発生装置と検定圧力発生装置		Vol.1,24-30
馬田 俊雄	試作した高速度撮影装置の改良に関する研究	1988	工学
	1988年度奨励研究(B)実績報告書		Vol.2,126-127
小松 治男	ガス銃における飛しょう体速度制御法の開発研究	1988	工学
	-		-
川崎 昌二	長時間安定なデジタル型積分装置の開発と研究	1988	工学
	-		-